

【市長賞】「給食に感謝」

安城南部小学校 杉浦 蒼可

シイタケ、エノキ・シメジ・エリンギ・・・私はキノコ全般があまり得意ではありません。匂いと食感が苦手で、食卓に出るといつも最後まで残ってしまいます。母は体にいいよと言っていろんな料理に工夫して入れてくれます。でも、そんな私が実は給食で干しシイタケを知らずに食べていたことがあります。それはビビンバです。給食のビビンバは、人気で学校のこん立て表に作り方がのっていたことがあったほどです。一年生がはじめて給食を食べる日のメニューもビビンバでした。家でもたまにビビンバがでることはあるけど給食のとは味がちがいます。それで母にたのんで学校のビビンバをインターネットで調べてもらいました。すると安城市の給食センターのサイトでその作り方がありました。材料は牛肉と干しシイタケです。なんと母に言われて、その時はじめてシイタケが入っていたと知りました。私は自分がシイタケを入っているのを知らずおいしいと言って食べていたことに、自分でもびっくりしました。母は、

「にんにくが入ってたからそのおかげで食べられたんじゃない？」

と、言っていました。それから、家族もこの味を気に入ってレシピの味になりました。もちろん干しシイタケも入っています。こんな風においしく食べられるようにしてうれしいです。

給食では自分の苦手なものや食べられないものを食べる機会を与えてくれます。おばあちゃんは今、その一口を食べないと大きくなった時において、今、その一口を食べられないよ。」

と、私の苦手なものをすすめます。前は、シヨウガが食べられなかったけど、一回食べて、食べられるようになりました。今では味ごはんにシヨウガがないと物足りないように思うようになりました。

いまではもうわすれてしまったけど、むかしはもつと食べられないものがあつたと思います。給食メニューには毎日たくさんのおいしい食材がつかわれています。毎日、給食を食べることで食べられないものがたべられるようになったと思います。家庭科でバランスがいい食事することは体にいいと学びました。いろんな食材を調理してくれる給食の栄養士さんや調理師さんに感謝してこれからもおいしく給食を食べたいです。